
今日から先輩の為に

山風薰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今日から先輩の為に

【NZコード】

NZ8009V

【作者名】

山風薰

【あらすじ】

親の都合で引越しがかりだった生活も終わり、静かな一人暮らし&高校生活を始めた笹島弾。
いろんな理由で悩み多いとある先輩。
そんな笹島君と先輩の物語。

プロローグ

ジリリリリリリリリ

部屋の中で耳障りな音が鳴り響く。ここ何年も聞き続けてきた音。学校生活に慣れて、この音だけはどれだけたつても慣れない。

「まあ、慣れたら慣れたで起きれなくなるから困るんだけどね」

目を覚ますと、普段と違う見慣れない天井が目の前にあった。それも当然。つい昨日引っ越してきたところだからだ。

両親には見捨てられるようにこの家に移されたけど、学生にとって一人暮らしは嬉しいものだ。

この部屋（マンションの1室）のことは何も聞いてないけど、新築なのかピン穴1つない真っ白な壁が広がるこの部屋は贅沢と言つていい。

カチッ

鳴り続けていた目覚ましを止めて起き上がる。

今日から学校なのだ、そういうこと引越しの余韻を噛み締めていては、遅刻してしまう。

と、言つても引越ししてからの登校初日。いつもよりかなり時間に余裕を持つて起きてきた。昨日買ってきた食パンを焼いてゆつくりテレビを見ていても十分間に合へ。

今日から新しい高校＆新学期なのに緊張や不安はまったく無いし、楽しみでもない。

なぜなら、これが初めての転校ではないからだ。まあ今回の引越し

しが高校生活最後の引越しになりそうではあるのだが……

といふこと、いつもどおりテレビをつけてパンを焼く。
テレビの中では女性アナウンサーが難しい内容の原稿読み上げて
いる

なんでも、潰れかけていた世界的にも有名な複合企業体が海外財閥のありえない額の出資で、持ち直したとか何とか。

このニュース番組、お堅いトピックが多くて中高生で見ている人は少ないらしいが、俺はこの番組を見続けている。

不純な動機だが、この女性アナウンサーがたまに噛んだりしているのを見るのが何ともいえないのだ。

それにしてもこの財閥最近よくテレビで見る。

この前は日本の企業を買い取つてニュースになつていたような…
…思い出せうとするがアナウンサーの顔しか出てこない。

まあ、いつか。

「おつと、いけね」

アナウンサーに見蕩れてパンが焼けているのに気づかなかつた。

冷えて固くなつたパンをかじりながらテレビ内の時計を見ると

「マジかよ」

デジタル時計は『7：52』を示していた。

学校までは歩いて20分。

今すぐ出れば間に合ひが早起きした意味が無かつたことが胸にいたい。

がつくりと重くなつた体を動かして、靴を履くため玄関に行く。

扉を開けて外に出る。

鍵を閉めてからまだ部屋の前に表札を貼つていなかつたことに気が

付くと、鞄から新品の表札を取り出し扉の横に貼りつける。
苗字だけじゃなく、名前も入れた正真正銘自分だけの表札。
貼つてから少し離れて、ずれていなか確認する。

『わやじつせ 笠島

『はやむ 弹

と書かれた表札を。

そして誰にも聞こえない声で呟いた。

「行つてきます」

やつぱり、新しい学校に登校する直前には緊張感と不安感がこみあげるものだ。

それに、どんな学校なのかとても楽しみ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8009v/>

今日から先輩の為に

2011年10月6日16時29分発行